

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2471300422
法人名	社会福祉法人 グリーンセンター福祉会
事業所名	グループホーム グリーンピア名張
所在地 (電話番号)	名張市東田原2745番地 (電話) 0595-65-8500
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 7 月 1 日(火)

【情報提供票より】 (H20年6月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 9人, 非常勤 0人, 常勤換算 7.3人	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円~
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

(4)利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	4 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 84 歳	最低 77 歳	最高 93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	釜本医院 岡波総合病院 あたらし歯科 上野病院 寺田医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人グリーンセンター福祉会・在宅複合型施設グリーンピアの広い敷地内の一角に位置し、広々とした地域交流ホールや特別養護老人ホームなど多くの事業所が隣接している恵まれた環境の事業所である。建物は豪華で落ち着いた雰囲気有しており、利用者全員が集える広い和室や利用者一人ひとりの暮らしを支える居室(プライバシーに配慮した洗面台やトイレを設置)・ゆったりとした共有スペースは穏やかで安心して暮らせる工夫が随所に見られる。「笑顔 あいさつ 言葉づかい」を法人の基本理念とし、「住み慣れた地域の中で、ゆっくり一緒に 楽しく その人らしく」を事業所の理念として事業展開をおこなっている。地域福祉に永年、熱意を持って取り組んでいる代表者と経験豊かな管理者のもとグリーンピア名張部会組織や委員会組織を採用し、職員の質とレベルの均一化を目指している。職員・利用者共に明るく元気である。地域密着型のモデルとしてもこれから益々楽しみな事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>代表者・管理者・職員ともに評価の意義・目的を良く理解して課題の検討・改善に努めている。(前回の外部評価後、改善項目について話し合い地域密着型のサービスの役割を含めた事業所独自の理念を作り上げている。)</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・全職員ともに調査の意義・目的を良く理解して自己評価に取り組んでいる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議規則を19年4月に作成し、9月に地域代表・名張市健康福祉部介護保険室室長・名張市地域包括支援センター長・利用者代表・家族代表が出席し、第1回目が開催された。「認知症の心につれる」のビデオ鑑賞や検討事項などを話し合い、意見を出してもらいそれらをサービスの質の向上に活かした取り組みがおこなわれているがその後開催されていない。運営推進会議は外部の人目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善課題を話し合う、地域の理解と支援を得る貴重な機会である。定期的に開催し、事業所のサービスの質の向上に活かして行かれる事が望まれる。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>少しでも家族が苦情・要望・意見を言いやすいように配慮している。また家族の訪問時になんでも言ってもらえるような雰囲気作りに留意しており、意見などは運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>代表者は地域との関係づくりを大切にしており、近隣保育所との交流や公民館活動に参加するなど地域との交流を図っている。また施設内の地域交流ホールをボランティア活動や民生委員の方々などに提供し、日常的に地域との連携を密にしている。</p>
重点項目④	

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔・あいさつ・言葉遣い」を法人の基本理念とし「住みなれた地域の中で、ゆっくり・一緒に・楽しく・その人らしく」を事業所独自の理念としてつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議や朝礼で確認しあい、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	代表者は地域との関係づくりを大切にしており、近隣保育園との交流や公民館活動など地域活動に参加している。また施設内の地域交流ホールをボランティアや民生委員の方々に提供し、地域との連携を日常的におこなっている。美旗まちづくり協議会にも入って交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者・管理者・全職員ともに自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解している。前回評価の改善項目についても全員で検討し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議規則を平成19年4月に作成し、9月に地域代表・名張市健康福祉部介護保険室職員・名張市地域包括支援センター職員・利用者代表・家族代表が出席し、第1回目が開催された。「認知症の心にふれる」のビデオ鑑賞や検討事項などを話し合い、意見を出してもらいそこでの意見をサービスの質の向上に活かした取り組みがおこなわれているが、その後開催されていない。	○	運営推進会議は外部の人の目をどうして事業所の取り組みや具体的な改善課題を話し合う地域の理解と支援を得る貴重な機会である。気楽に定期的に行われ、事業所のサービスの質の向上に活かされることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	代表者は市の介護認定審査会委員でもある。認知症の介護者教室を開催し市の担当者との関係作りを行い行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	グループホーム通信を作成し、利用者の暮らしぶりなどを報告している。また面会時、利用者一人ひとりの様子を個々に伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族などが意見や不満・苦情を言いやすい雰囲気づくりに努めている。施設全体で苦情対策委員会を設置し些細なことでも報告し、改善していく体制がある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	代表者は異動による利用者へのダメージを充分承知しており、異動は最小限にとどめている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が公平に熟練度と研修会のテーマを参考にし外部研修を受けている。また受講後は施設内研修にも活かしてサービスの質の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	三重県グループホーム連絡協議会に職員が交代で参加し交流の機会をもっている。市内の他のグループホームの催しなどへの見学もおこなっている。伊賀地区施設長会議があり各施設を訪問できる機会がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人にできるだけ時間をかけて雰囲気慣れてもらい、他の利用者や職員と顔見知りになってもらうように努めている。お試期間も工夫しながら設けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	元先生だった方には得意な字を書いてもらい壁に掲げるなど職員・利用者ともに喜怒哀楽の共有や利用者自身が意見を出せる場面作りの支援をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人にできるだけ寄り添い意志の疎通を図りながら、日々の表情や行動から利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。また理念の「その人らしく」を念頭に支援している。センター方式を参考にして「私の基本情報シート」を作成している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントに基づいて利用者一人ひとりの状況を把握し、家族にも意見や希望をだしてもらい利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員は日々利用者一人ひとりの介護計画と照らしながら変化を家族や関係者と話し合い現状に即した介護計画の見直しをおこなっている。定期的な見直しもある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設内に地域交流ホールを有しており、地域の方々との交流や各種イベントに参加など、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かすように支援している。また地域からの認知症ケアの相談など地域介護相談所として、また家族介護教室も開催し地域のニーズに応じている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在は利用者全員法人の協力医の受診の支援がある。週1回個室での往診もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「グリーントピア名張 重度化した場合の対応にかかる指針」を制定し、協力医と連携をとりながら、本人・家族の希望を尊重する方針で事業所内の意思統一が出来ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全ての職員が利用者一人ひとりの誇りを尊重しながら対応している。言葉づかいも穏やかで丁寧である。また個人情報の保護も良く理解して支援している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームの理念「住み慣れた地域の中で、その人らしく生活できるよう努める」を実践し、職員側の都合を優先するのではなく利用者一人ひとりのペースを大切にして日々のその人らしい暮らしを支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	隣接した農園で採れた作物を使用した献立やおやつ作りは利用者の楽しみになっている。盛り付けや片付けなどは一人ひとりの力を活かしながら職員と一緒におこなっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの意向を大切にして、寛いだ気分で入浴を楽しめる支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は日々の生活の中で知りえた一人ひとりの生活歴(小学校の先生・社交ダンスの得意な方・・・)を共有しており、張り合いのある暮らしの支援をおこなっている。また隣接した地域交流ホールでの映画鑑賞会など楽しみごとも多い事業所である。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	隣接した農園へ出掛けたり、近隣への散歩や買い物は日常的におこなっている。また保育所での交流など希望に応じた外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	代表者・管理者・職員ともに鍵をかけることの弊害を良く理解している。危険がある玄関だけ家族の了解を得てかけるときもあるが、その他の共有スペースや居室・庭園への出口には全て鍵はかけられていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て施設全体で年2回防災訓練をおこなっている。夜の8時にも夜間の防災訓練をおこなっている。代表者は自治会や民生委員を通じて地域への協力依頼をおこなっているがまだ地域住民の参加は得られていない。	○	地域の方々と防災訓練を通じて、相互に助け合う関係作りが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立であり、常に栄養バランスや摂取量に配慮している。個人記録に水分量を記録し水分確保の支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりとした共有空間や入居者全員が集える広い和室には季節の花が飾られ居心地良く過ごせる配慮が随所に見られる。また大きな窓からの自然の風は心地よく小鳥の鳴き声も聞こえるなど季節を体感できるスペースになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にはプライバシーに配慮した清潔なトイレや洗面台を設置しており、代表者の想いのあるベッドや箆箭・テレビ・あぐらチェアなどで素敵な部屋作りの工夫がされている。その他のものは利用者一人ひとりの使い慣れたものや好みのものを持ち込み居心地良く過ごせるように工夫している。		